# 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 9 月 1 2 日現在

機関番号: 23601

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2018~2021

課題番号: 18K10186

研究課題名(和文)多死時代の「生き方・生き場所」を支える家族調整スキル開発とICTを用いた普及

研究課題名 (英文) Development of Family Coordination Skills toSupport "How to Live and Where to Live" in the Age of High Death Rates and its Dissemination Using ICT

#### 研究代表者

柳原 清子 (Yanagihara, Kiyoko)

長野県看護大学・看護学部・教授

研究者番号:70269455

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文):本研究では高齢社会/多死時代での、終末期の本人・家族の願いや意向に添った支援を調査探索した。さらにACP(人生会議)の実現に向けて、医療職が家族システムと医療・在宅システムの包括的な調整ができるように、調整スキル開発とその普及をはかり、アクションリサーチ法でまとめた。具体的には地方日市の全住民調査で、終末期認識や家族、生活の調査を2019年と2021年に行い、実態と関連要因を明らかにした。また ICTを用いた医療専門職への「システム調整スキルの教育研修」をおこなった。対面研修はコロナ禍で中断を余儀なくされたが、その後ICTでの定期研修が続けられている。成果は事例検討/事例研究でまとめた。

研究成果の学術的意義や社会的意義学術的な意義は、フィールド調査により『人々の人生の最終段階での「場」の認識要因は、医療システムや福祉サービスの要因ではなく、家族状況が強く影響し、地域のソーシャル・キャピタルは関連しない』を明らかにしたことである。これによってACPの家族調整の重要性が説明できた。さらに医療者が家族調整および医療/在宅現場での倫理調整ができることを目的とした『「渡辺式」意思決定/倫理調整ワークシート』を開発し完成させたことがある。そのワークシートを使った事例検討研修をICT(オンライン会議システムと種々の研修アプリ)を用いて全国レベルで展開し、ACPの拡がりをはかる社会貢献を行った。

研究成果の概要(英文): This study explored ways to support the wishes and intentions of individuals and their families concerning end-of-life care in an aging society for individuals at ages with high death rates. Furthermore, to realize ACP (Advance Care Planning: Decision-Making Support), we developed and disseminated skills to enable medical professionals to comprehensively coordinate the family system with the medical and home systems, and summarized them using the action research method. Specifically, we conducted a survey of all residents of H City in 2019 and 2021 to determine end-of-life perceptions, family, and life, and to identify actual conditions and related factors. In addition, we conducted "education and training on system coordination skills" for medical professionals using ICT. Although the training was interrupted owing to the COVID-19 outbreak, we continued regular online training, and summarize the results through case studies.

研究分野: 家族看護

キーワード: 家族調整スキル ACP (意思決定支援) 多死の時代 意思決定/倫理調整ワークシート アクションリャーチ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

### 1.研究開始当初の背景

我が国は多死の時代となっている。老いの虚弱状態(以下フレイル)や、病気のエンド・オブ・ライフ期において、残された日々をどこでどのように過ごしたいか、というその人の願いの明確化と、その意向を実現するための、援助専門職による家族システムと医療および在宅システムの調整が急務となっている。

人生の最終章での人々の願いの明確化と、その意向を実現するためのシステムとして、厚労省は ACP (人生会議)の実施を推奨しており、医療機関での退院調整部門を整備し、在宅ケアでの 多職種会議などへの診療費加算を行った。そこに求められるのは、エンド・オブ・ライフ期における "逝く人も看取る人々もすべての人の納得"であり、その実現のため"自らの意思決定ができること"であった。この支援の担い手が、退院調整看護師、ケアマネージャーおよび訪問看護師等である。終末期本人・家族のまるごと支援の視点(=家族看護のシステム視点)は定着しつつあるが、家族内調整および医療・在宅システム間の「調整スキル」の開発は端緒に就いたばかりであった。

一方で 2020 年 1 月からの COVID-19 の流行は、家族面会制限や人々の集まりの禁止などで、本人・家族の意思の表明、ACP での話し合う場の設定そのものが難しくなった。こうした社会情勢の中では、多死時代の「生き方・生き場所」を支える本人および家族の調整はさらなる困難を伴うがゆえに、援助専門職に「家族調整スキル」を身につけてもらうことが喫緊の課題となっていた。

### 2.研究の目的

本研究の問いには、いかに支援すれば、死をめぐる人々の自己実現が叶うのかがあった。援助専門職の願いは、人々の人生の最終章の時間を納得と安寧なものにすることである。その前提となるのが、人は家族の中にあるという視座である。また家族とはシステムであり、内外の変化に適応しようとして動くが、終末期は往々にして適応困難となる。その様相を確認するためにフィールド調査で、実態と関連要因を明らかすることを目的とした。

2 つめの問いは いかにして家族調整スキルを用いて最善の結果を導く、解決力のある援助専門職を育成するか であった。その解決のため、まず開発途上であった「家族システムの調整モデル」を完成させることを初期目的とした。その上で、そのモデルを使って医療/在宅ケア専門職が的確にアセスメントし、系統立った家族内/家族外調整が行えるようになるための教育研修を計画し、実施、評価する中で、人材育成をはかることを目的とした。

#### 3.研究の方法

目的 1 終末期に願う場で住みつづけられるのかのフィールド調査

北陸のH市の KDB (国保データベース)および全住民アンケートを用いて、人生の終末期をどこで過ごしたいと考えているかの認識、地域のソーシャル・キャピタルを調査する。結果は統計的にまとめる。

目的2 家族調整スキルの開発および普及

アクションリサーチ法を用い、段階的におこなっていく。

家族調整スキル開発としては、(1)家族リジリエンス概念の論文化と(2)解決志向型家族調整モデル(「渡辺式」家族アセスメント/支援モデル)の「分析シート」を完成させ ICT で公開することである。家族調整スキルの普及は、情報通信機器(以下 ICT: Internet Communication Technology)を使って、援助専門職の調整能力の教育研修を実施していくこと、とした。

### 4. 研究成果

研究成果は、2つの目的に沿って、4つの視点で述べる。

(1). 終末期に願う場で住みつづけられるのかのフィールド調査

2017年のH市(人口21,364人の小規模市)の40歳以上の全住民調査から、終末期の意識と、その考えに家族状況やソーシャル・キャピタルがどのように関連しているか明らかにした。対象者は6,578人(回収率43.9%)であり、終末期を過ごす場としての「自宅」と「それ以外」のロジスティック回帰分析を行った。

結果、終末期の場の認識に、男性は自宅を、女性は医療機関や施設希望であった。また家族構成では「一人暮らし」が有意に「自宅以外」を希望した。終末期の希望に、15 分圏内に住む子どもやきょうだいの有無、親族ネットワーク、およびH市の11 圏域のソーシャル・キャピタルは関連しなかった。これらの結果はH市に報告し、地域包括ケア施策の基礎資料にしてもらった。

2019年のH市の40歳以上の全住民調査は、主として「コロナ禍」の影響を調査するもので

あった。家族との関連事項として、a.同居人数は平均2.3人±1.73であり、b.相談する相手として、63%が身内や親せきをあげた。コロナ禍の影響としての、「家族時間増えたか」「家族のきずな深まったか」「家族との食事増えたか」の問いはいずれも「変化なし」であり、家族形態によるコロナ禍の影響の差もなかった。

またコロナ禍のストレスは「コロナ疲れ」「生活不安・将来不安」「孤独・孤立」「家事介護負担感」を問うた。この中で介護負担のみ有意に高かった。地方都市のH市は家族・親族志向が強い土地柄である。コロナ禍の心理的ストレスは、介護に関してのみ高く、影響は断片的であった。

# (2). 家族調整スキル(アセスメントシート)の開発

第一段階:「渡辺式」家族分析シートのリニューアル

「渡辺式」家族アセスメント/支援モデルでの、「分析シート」のリニューアルをおこなった。 それはシステム的(俯瞰的)思考と解決志向を基礎にクリティカルシンキング(系統だって 吟味する)を強化するための分析シートであることを明確化した。

第二段階:「渡辺式」意思決定支援/倫理調整シートの開発

「渡辺式」意思決定支援/倫理調整シートの開発を行った。それは終末期の意思決定(ACT=人生会議)の本人、家族、そして援助専門職システムの調整のためのものである。シートの構造は、解決志向的に「家族システム」と「医療システム」を同時に俯瞰して分析検討していくものである。医療システム、家族システムのそれぞれ(メンバー)の「認知:ストレス内容」と「対処行動」「背景」を明らかにし、その底流を流れる文脈を把握する。さらに医療システム内と家族システム内のメンバー間の相互作用をとらえる。そしてこの2つのシステム間の相互作用の悪循環を解消する形で意向のすり合わせ(調整)を行っていき、本人家族の総意をつくるというものである。

(3). 家族調整スキル(アセスメントシートを使った分析と支援計画づくり)の普及

開発をした「渡辺式」家族アセスメント/支援モデルでの分析シート、および「渡辺式」意思 決定支援/倫理調整シートを使っての、専門職への教育研修を1年目より4年間継続して行った。

当初の本研究計画では、ICTを使うこととして、家族アセスメントシートをインターネット上で記録が可能なようにアプリケーションを作成する。アプリを使って研修実施と仕様評価、アプリをオンラインにのせクラウドシステムを作成する、計画であった。

こうしたアプリを使って家族アセスメントしていくことの前提として必要だったのは、集合 研修で分析シートの構造や概念を説明し、事例分析を通しての実際の活用法を教育することで あった。

この教育研修を行うため、本研究のスタート時から、「家族看護研究会(集団コンサルテーション形式での事例検討会を定期的に行うための組織的な会)」を立ち上げた。また事例検討会と並行して、家族調整スキルを身に着けて実践と普及をしていく『家族看護マスター』養成のためのシステムを作成した。この『家族看護マスター』養成プログラムは、より高度な人材育成の研修を計画的におこなうものであった。

結果として、この「渡辺式」分析シートを用いて事例検討会を行う「家族看護研究会」は、全国に広がりをみせ、2021 年末の時点では 11 支部が立ち上がっている。研究会活動(対面形式での小グループ研修)および組織的集合研修は、隔月で7回/年開催して、参加者は毎回 20 名前後であった。また2日間の集中型の「事例検討プレマスター研修」は(10 名定員)で2回開催できた。

各研究会での研修会参加者には、学びの自己評価をしてもらい、それを「看護師の家族看護学コンピテンシー内容の分析 - 「渡辺式」家族看護研究会の参加者からの調査 - (2019、日本家族看護学会で発表)としてまとめた。

2019 年調査での対象者は、100 名で看護師経験年数は 19.3(SD=10.5)年だった。「渡辺式」分析シートの理解では、「対象者の絞り込み」「検討場面の明確化」は「わかった」が 60%を超えたが、総じて、医療者—本人、医療者 - 家族、家族メンバー間の相互作用は「わかった」が 30%であった。また、「思考し検討する力」「俯瞰力」「事例解決力」は、「ついた/まあついた」を合わせたものが 90%前後であった。(図 1 参照)

この調査研究を通して、「分析シート」の文言の変更と、教育研修計画で更なる工夫を実施した。

2020 年 1 月からの COVID-19 の流行で、以後半年間は軒並み中止を余儀なくされた。コロナ禍が続く中 2020 年 9 月からは ICT でのオンライン研修に切り替え、以後定期開催を続けている。研究者が主催している「家族看護研究会」では、これまでの成果として、毎回の研究会ではほぼ  $10 \sim 20$  名が参加し、年間総数では約 150 名が受講した。

当初計画した「アプリ開発とその普及」は、(ICT でのオンライン研修を続ける中で)オンライン事例検討会やオンライン研修会の方が援助専門職教育研修として効果があることが判明し、アプリ開発は中断して計画変更をした。

結果として、エンド・オブ・ライフ期における"逝く人も看取る人々もまるごとの支援"の担い手である、援助専門職の人材育成は地道に行えており、今後も継続予定である。

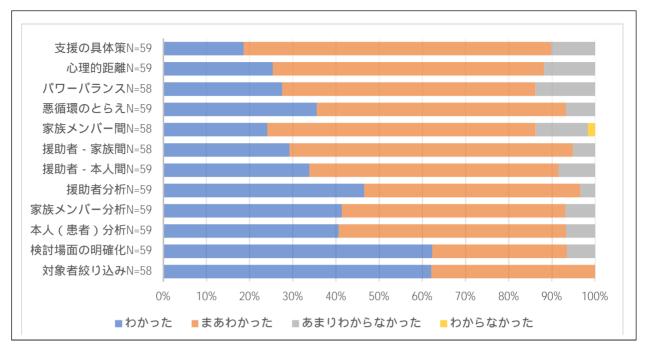


図1 「渡辺式」分析シートを利用しての看護師のコンピテンシー習得の自己評価

## (4). 学術的な成果

終末期に願う場で住みつづけられるのかのフィールド調査のまとめは、和論文作成を行った。 コロナ禍で国際学会公表は出来なかった。

援助専門職に「家族内調整」および「家族と支援者間調整」、「医療・在宅システム内調整」のスキル開発スキルを身につけて、実際に支援を展開できることに関して、援助専門職と共同執筆での事例研究や論文作成、学会発表を行った。

本研究において教育研修で普及をはかった「渡辺式」家族アセスメント/支援シートは、家族 看護専門領域で拡がりをみせており、開発した「渡辺式」意思決定支援シートとともに、家族看 護のみならず様々な看護専門学会誌や学術集会で、それを用いての研究が散見されるようにな ってきている。

# 5 . 主な発表論文等

「雑誌論文 】 計46件(うち査読付論文 19件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件)

〔雑誌論文〕 計46件(うち査読付論文 19件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件)	
1 . 著者名 柳原清子	4.巻 28(5)
2.論文標題 コロナ禍の高齢者と家族"引き裂かれ"と"凝集"の中での家族の葛藤	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 ,臨床老年看護	6.最初と最後の頁 60 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 西村知華、柳原清子、前田美幸、前田咲子、中田康子、三村あかね	4.巻 51
2.論文標題 妊娠期に希死念慮を持った「うつ病」妊婦への看護「お産」と「おっぱい」で一人の女性の成長に賭ける	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 日本看護学会論文集:ヘルスプロモーション・精神看護・在宅看護	6.最初と最後の頁 13 16
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 柳原清子	4.巻 23(9)
2.論文標題 家族メンバーが「病い」を持つということ ヤングケアラーへのまなざし	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 コミュニティケア	6.最初と最後の頁 41 45
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 前田美幸、柳原清子、島田啓子、田淵紀子、南香奈	4.巻 62(2)
2 . 論文標題 早産に至った母親の出産体験の内在化	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 母性衛生	6.最初と最後の頁 427 435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名 三枝真理、柳原清子	
一片古田・柳店注フ	4 . 巻
二权其理、柳凉洎丁	23 (5)
2.論文標題	5 . 発行年
家族構造の変化による家族内パワーバランスの崩れとその調整法	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
コミュニティケア	64 68
10 #844 A = 0.0 ( m <sup>2</sup> 5 E + 1 1 m <sup>2</sup> 5 ) E 1 446 PUTY :	1 + +
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有 
オープンデクセスとはない、又はオープンデクセスが凶難	-
1 . 著者名	4 . 巻
土本千春、野尻清香、柄澤清美、柳原清子、土山和美、白藤恵里子、海道智美、宇都宮啓子	26 (1 2)
2 . 論文標題	5
	5.発行年
自分を伝えないAYA世代終末期患者の残された「今」を支えた看護 語り合えない家族をゆさぶる	2021年
2	( 見知し目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
家族看護学研究	188 200
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアグセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有
オープンテクセスとはない、人はオープンテクセスが凶難	-
1 . 著者名	4 . 巻
野尻清香、柳原清子	23 (3)
我,你用目、你你,你们	23 (3)
2.論文標題	5.発行年
コロナ禍での在宅ターミナルケア 望む療養場所が本人と家族で異なるケースへの支援	2021年
コロノ间にのはモノースノルノノー主も原民物川ガヤハこが広く共体もノーハトの支援	2021—
3 . 雑誌名	6 最初と最後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 コミュニティケア	6.最初と最後の頁 42 46
** *** * *	
コミュニティケア	
コミュニティケア 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	42 46 査読の有無
コミュニティケア	42 46
コミュニティケア 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	42 46 査読の有無
コミュニティケア 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	42 46 査読の有無 無
コミュニティケア 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	42 46 査読の有無 無
コミュニティケア 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	42 46 査読の有無 無
コミュニティケア 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	42 46 査読の有無 無 国際共著
コミュニティケア 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	42 46 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
コミュニティケア 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 今井美佳、柳原清子	42 46 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2)
  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   なし    オープンアクセス	42 46 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	42 46 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2) 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 今井美佳、柳原清子  2.論文標題 話し合えない家族への調整 家族メンバー間の円環的コミュニケーションをつくる	42 46 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2) 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし   オープンアクセス	42 46
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	本読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 今井美佳、柳原清子 2 . 論文標題 話し合えない家族への調整 家族メンバー間の円環的コミュニケーションをつくる 3 . 雑誌名 コミュニティケア	本読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 今井美佳、柳原清子 2 . 論文標題 話し合えない家族への調整 家族メンバー間の円環的コミュニケーションをつくる 3 . 雑誌名 コミュニティケア	本読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 今井美佳、柳原清子  2 . 論文標題 話し合えない家族への調整 家族メンバー間の円環的コミュニケーションをつくる 3 . 雑誌名 コミュニティケア	42 46  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 44 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 今井美佳、柳原清子 2 . 論文標題 話し合えない家族への調整 家族メンバー間の円環的コミュニケーションをつくる 3 . 雑誌名 コミュニティケア 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	42 46  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 44 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 今井美佳、柳原清子  2 . 論文標題 話し合えない家族への調整 家族メンバー間の円環的コミュニケーションをつくる  3 . 雑誌名 コミュニティケア  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	42 46  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 44 47

1.著者名 板谷 智也,戸上 央,佐無田 光,柳原 清子,中井 寿雄,加藤 穣	4.巻 <sup>24(2)</sup>
2.論文標題 福祉・医療の現場から 高齢化が進む石川県羽咋市における「看取り」の意識に関する研究	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 地域ケアリング	6.最初と最後の頁 57-59
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 柳原清子	4.巻 44(1)
2.論文標題 「コロナ禍の時代」の家族看護:家族システム理論を踏まえての解決志向アプローチ	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Journal of wellness and health care	6.最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 柳原清子,山口裕通,藤生慎	4 . 巻 21(3)
2.論文標題 高齢者の災害避難支援のための「災害脆弱地区マップ」の作成:地方中規模A市の河川浸水災害を焦点化 して	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 日本災害看護学会誌	6.最初と最後の頁 19-29
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 遠田麻衣子 , 柳原清子 , 西谷恭子	4.巻 50号
2.論文標題 最期の「持続的鎮静を自ら決断した」終末期がん患者を支えた"待つ看護": 大学病院における意思決定に 寄り添う看護事例から	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 日本看護学会論文集.慢性期看護	6.最初と最後の頁82-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4.巻
柳原清子 ,松原孝祐 ,間所 祥子	43(2)
	5.発行年
~ : 調文標題   初年次導入教育における「多職種連携学習(IPE)」の評価:PBL/ ポスターツアーの実践から	2020年
物件人等人教育にのける「夕報性達携子自(IFE)」の計画・FDL/ ホスプープデーの美成から	20204
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of wellness and health care	75-84
Journal of Werniess and flearth care	73-04
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
野尻清香 柳原清子	23(3)
2 . 論文標題	5 . 発行年
コロナ禍での在宅ターミナルケア 望む療養場所が本人と家族で異なるケースへの支援	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
コミュニティケア	42-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	CORPORATE THE
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 #40	
1 . 著者名	4.巻
今井美佳 柳原清子	23(2)
	5.発行年
~ : 調又信題   話し合えない家族への調整 家族メンバー間の円環的コミュニケーションをつくる	1 - 1,- 1
前し口えない家族への調整 家族ケノハー同の口塚的コミューケーションを ノくる	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
コミュニティケア	44-47
	77-7/
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
1.著者名	4.巻
澤田紀子 柳原清子	23(1)
2 . 論文標題	5 . 発行年
カンファレンスを成功に導く極意 看護カンファレンスの成功法 一方向的な見方を回避し文脈理解をめ	2021年
ਰੱ <b>ਰ</b>	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
コミュニティケア	65-68
	<u> </u>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4.巻
木村藍子 柳原清子	22(11)
- AA \ \   T   T	
2.論文標題	5 . 発行年
カンファレンスを成功に導く極意 事例カンファレンスは「困り事」の洗い出しから	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	
コミュニティケア	43-46
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	<b>無</b>
·& O	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
柳原清子	22(10)
1997.示/自 」	22(10)
2.論文標題	5.発行年
~ : 鳴ス/	2020年
一人に対象族がピスメンド/文族モナル」をベースとしたカンファレンス一般不知にめる原管者へのアドハーンス・ケア・プランニング	2020 <del>-1</del>
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
コミュニティケア	42-46
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<del></del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
柳原清子	22(8)
1/1 (MATERIAL )	\-/
2.論文標題	5 . 発行年
カンファレンスのコンサルテーション機能とファシリテーションのスキル	2020年
32 2 7 6 2 7 6 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1	2020—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
コミュニティケア	67-70
	31 10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
L 2 L - L	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 柳原清子	- 4.巻 22(6)
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題	4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 柳原清子	- 4.巻 22(6)
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い	- 4.巻 22(6) 5.発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い  3 . 雑誌名	- 4.巻 22(6) 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い	- 4.巻 22(6) 5.発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 22(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い  3 . 雑誌名 コミュニティケア	- 4 . 巻 22(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 44-46
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い  3 . 雑誌名 コミュニティケア  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 22(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 44-46 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い  3 . 雑誌名 コミュニティケア	- 4 . 巻 22(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 44-46
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い  3 . 雑誌名 コミュニティケア  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 22(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 44-46 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 柳原清子         2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い         3 . 雑誌名 コミュニティケア         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス	- 4 . 巻 22(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 44-46 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 本人・家族の困り事 医師と看護師の見方の違い  3 . 雑誌名 コミュニティケア  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 22(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 44-46 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
柳原清子	22(5)
2 . 論文標題	5 . 発行年
患者・家族の「鍵」となる情報に注目し吟味する	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
コミュニティケア	44-47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
オープンテクピスとはない、又はオープンテクピスが四無	-
1.著者名	4 . 巻
柳原清子	22(4)
	` ′
2 *A-b-4# HT	F 36/-/-
2 . 論文標題	5 . 発行年
「カンファレンスや事例検討会は難しい」の嘆きの壁に挑む!	2020年
	'
2 株社夕	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
コミュニティケア	30-33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<b>「オープンアクセス</b>	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンデクセスではない、又はオープンデクセスが四無	-
│ 1.著者名	4 . 巻
「	
柳原清子 板谷智也 村上慎司	22(2)
柳原清子 板谷智也 村上慎司	22(2)
柳原清子 板谷智也 村上慎司 2 . 論文標題	22(2) 5 . 発行年
柳原清子 板谷智也 村上慎司	22(2)
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題  多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市	22(2) 5 . 発行年
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 .論文標題  多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より	22(2) 5 . 発行年 2020年
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題     多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 .論文標題  多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より	22(2) 5 . 発行年 2020年
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題     多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 .論文標題     多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 .雑誌名	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47 査読の有無
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47 査読の有無
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47 査読の有無
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47  査読の有無
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47  査読の有無
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47  査読の有無
<ul> <li>柳原清子 板谷智也 村上慎司</li> <li>2.論文標題         多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より     </li> <li>3.雑誌名         地域ケアリング     </li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li> <li>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> </ul> 1.著者名	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有 国際共著 -
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22(2) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 23(1)
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2.論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3.雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥  2.論文標題	22(2) 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4. 巻 23(1) 5. 発行年
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 23(1)
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2.論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3.雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥  2.論文標題	22(2) 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4. 巻 23(1) 5. 発行年
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年
<ul> <li>柳原清子 板谷智也 村上慎司</li> <li>2.論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より</li> <li>3.雑誌名 地域ケアリング</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 柳原清子,原田魁成,寒河江雅彦,齊藤実祥</li> <li>2.論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」</li> <li>3.雑誌名</li> </ul>	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
柳原清子 板谷智也 村上慎司  2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より  3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年
<ul> <li>柳原清子 板谷智也 村上慎司</li> <li>2.論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より</li> <li>3.雑誌名 地域ケアリング</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 柳原清子,原田魁成,寒河江雅彦,齊藤実祥</li> <li>2.論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」</li> <li>3.雑誌名</li> </ul>	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
<ul> <li>柳原清子 板谷智也 村上慎司</li> <li>2.論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より</li> <li>3.雑誌名</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥</li> <li>2.論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」</li> <li>3.雑誌名</li> </ul>	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
## 7 報告 を記している   おおお	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 83-90
<ul> <li>柳原清子 板谷智也 村上慎司</li> <li>2.論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より</li> <li>3.雑誌名 地域ケアリング</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦, 齊藤実祥</li> <li>2.論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」</li> <li>3.雑誌名 日本在宅ケア学会誌</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 83-90
## 7 報告 を記している   おおお	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 83-90
<ul> <li>柳原清子 板谷智也 村上慎司</li> <li>2.論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より</li> <li>3.雑誌名 地域ケアリング</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦, 齊藤実祥</li> <li>2.論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」</li> <li>3.雑誌名 日本在宅ケア学会誌</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 83-90
2 . 論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より 3 . 雑誌名 地域ケアリング  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥 2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」  3 . 雑誌名 日本在宅ケア学会誌  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 83-90  査読の有無 有
クリスティック を受ける 対し傾回 2 ・論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』 に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャビタル 小規模地方都市の全住民調査より 3・雑誌名 地域ケアリング お カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1・著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥 2・論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」 3・雑誌名 日本在宅ケア学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 83-90
<ul> <li>柳原清子 板谷智也 村上慎司</li> <li>2 .論文標題 多死時代の『生き方・生き場所』に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の全住民調査より</li> <li>3 .雑誌名 地域ケアリング</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 .著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦,齊藤実祥</li> <li>2 .論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」</li> <li>3 .雑誌名 日本在宅ケア学会誌</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> </ul>	22(2) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 41-47  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 83-90  査読の有無 有

1 菜耂夕	222
1 . 著者名	4 . 巻
柳原清子,山口裕通,藤生慎	21 ( 3 )
o \$4.00 targs	F 36/-/-
2.論文標題	5.発行年
高齢者の災害避難支援のための「災害脆弱地区マップ」の作成:地方中規模A市の河川浸水災害を焦点化	2020年
UT	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本災害看護学会誌	In Press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
柳原清子,南香奈	43(1)
2 . 論文標題	5.発行年
退院調整場面を焦点化した多職種協働・地域連携教育の検討: アクティブラーニングを用いて	2019年
The second of th	1
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Wellness and Health Care	91-99
Courtier of northbood and nourth out	
     	査読の有無
	有
' <b>c.</b> ∪	[ F
! − プンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
<b>カーノファフ にろ Cladeの、 人はカーノファフ に入が</b> 凶無	-
1.著者名	4 . 巻
柳原清子,松原孝祐	43(2)
) 於文極時	5.発行年
2. 論文標題	コ.光1]午
初左后送入地方后去从77 在1964年推兴到(1967) 《范尔 1987年 198	
初年次導入教育における「多職種連携学習(IPE)」の評価:PBL/ポスターツアーの実践から	2019年
	2019年
3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
	2019年
3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care	2019年 6 . 最初と最後の頁 75-84
3.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 75-84 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care	2019年 6 . 最初と最後の頁 75-84
3.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care <b>B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> なし	2019年 6.最初と最後の頁 75-84 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 75-84 査読の有無
B . 雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 75-84 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care	2019年 6.最初と最後の頁 75-84 査読の有無 有
B.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 75-84 査読の有無 有
B.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 75-84  査読の有無 有  国際共著
B.雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 75-84  査読の有無 有  国際共著 -
B . 雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名  浅野悠佳,柳原清子	2019年 6.最初と最後の頁 75-84  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 8(2)
3 . 雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 浅野悠佳,柳原清子 2 . 論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 75-84  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年
B . 雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名  浅野悠佳,柳原清子	2019年 6.最初と最後の頁 75-84  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 8(2)
B. 雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名  浅野悠佳,柳原清子  2. 論文標題 患者と死別した造血細胞移植同胞ドナーの語り.	2019年 6.最初と最後の頁 75-84  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年
3 . 雑誌名     Journal of Wellness and Health Care     お前文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし     オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     . 著者名     浅野悠佳,柳原清子     2 . 論文標題     患者と死別した造血細胞移植同胞ドナーの語り .     3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁75-84  査読の有無有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名   浅野悠佳 , 柳原清子  2 . 論文標題   患者と死別した造血細胞移植同胞ドナーの語り .	2019年 6.最初と最後の頁 75-84  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年
3 . 雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 浅野悠佳,柳原清子  2 . 論文標題 患者と死別した造血細胞移植同胞ドナーの語り .  3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁75-84  査読の有無有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名         Journal of Wellness and Health Care         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 浅野悠佳,柳原清子         2 . 論文標題 患者と死別した造血細胞移植同胞ドナーの語り .         3 . 雑誌名 日本造血細胞移植学会雑誌	2019年 6.最初と最後の頁75-84  査読の有無有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁90-96
3 . 雑誌名     Journal of Wellness and Health Care     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし     オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁75-84  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁90-96
3 . 雑誌名     Journal of Wellness and Health Care	2019年 6.最初と最後の頁75-84  査読の有無有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁90-96
3 . 雑誌名 Journal of Wellness and Health Care  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 浅野悠佳, 柳原清子  2 . 論文標題 患者と死別した造血細胞移植同胞ドナーの語り .  3 . 雑誌名 日本造血細胞移植学会雑誌  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.7889/hct-18-005	2019年 6.最初と最後の頁75-84  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁90-96  査読の有無 有
3 . 雑誌名     Journal of Wellness and Health Care     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし     オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁75-84  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 8(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁90-96

1.著者名	4 . 巻
柳原清子	.24(1)
2.論文標題	5 . 発行年
がん~家族の肖像~【4】 家族の力を切望するとき,家族がもつ文化の壁を感じるとき	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
がん看護	57-60
7, 70 Eng	37 -00
	<del>+++-+</del>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
柳原清子	24(2)
NEWVER 3	· /
2 - 全人中 福田百	r
2 . 論文標題	5 . 発行年
がん~家族の肖像~【5】 子どもの'がん'と家族-晩期合併症と家族役割移行ということ	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
がん看護	
がで有談	291-294
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<del>////</del>
+ -f\.7 + + 7	国際共芸
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	_
柳原清子	24(3)
2 . 論文標題	5 . 発行年
がん~家族の肖像~【6】 家族看護の解決志向型アプローチ:家族メンバー間の相互作用のアセスメン	2019年
がん。	_5.0
	6 見知し見後の五
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
がん看護	775-779
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	杏誌の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
なし	無
なし オープンアクセス	無
なし	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	無 国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	無 国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 柳原清子	無 国際共著 - 4.巻 145 (.2)
オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 柳原清子         2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 145 (.2) 5.発行年
なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん	無 国際共著 - 4.巻 145 (.2)
なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族	無 国際共著 - 4.巻 145 (.2) 5.発行年 2019年
なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん	無 国際共著 - 4.巻 145 (.2) 5.発行年
なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4.巻 145 (.2) 5.発行年 2019年
なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族 3 . 雑誌名 精神療法	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名 精神療法	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族 3 . 雑誌名 精神療法	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名 精神療法	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211
### おします ### ### おします ### ### おします ### ### ### ### ### ### ### ### ### #	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク - 在宅で生と死を支える支援: 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名 精神療法  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211 査読の有無
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 145 (.2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211 査読の有無

1 . 著者名	4 . 巻
柳原清子、板谷智也、村上慎司	22(2)
2 . 論文標題	5 . 発行年
多死時代の『生き方・生き場所』に対する本人/家族の認識とソーシャル・キャピタル 小規模地方都市の 全住民調査より	2019年
	6 目切に目後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域ケアリング . 41-47	41-47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無無
40	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
3 John Charles And John Charles	
1 . 著者名	4 . 巻
Makoto Fujiu , Yuma Morisaki , Junichi Takayama , Kiyoko Yanagihara	15(3)
makoto rujiu , ruma morroaki , oumom rakayama , kryoko rahayinara	(0)
2 . 論文標題	5 . 発行年
Evaluation of Regional Vulnerability to Disasters by People of Ishikawa, Japan: A Cross	2018年
Sectional Study Using National Health Insurance Data	2010—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Int. J. Environ. Res. Public Health	- AXIJ CAXIX V A
Titt. G. Environ. Res. Fabric hearth	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/ijerph15030507	有
i o constanti di c	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1. 著者名	4 . 巻
柳原清子、松井喜代子、小田梓.	42(1)
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,
2.論文標題	5 . 発行年
柳原清子、松井喜代子、小田梓:基礎看護学の「看護過程の枠組み(モデル)」の学習にアクティブラー	2018年
ニングを用いた教育の検討・	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Wellness and Health Care	105-112
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
なし	有
オープンアクセス	有
オープンアクセス	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦	有 国際共著 - 4.巻 23 (1)
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	有 国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦	有 国際共著 - 4.巻 23 (1)
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」	有 国際共著 - 4.巻 23 (1) 5.発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 23 (1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」	有 国際共著 - 4.巻 23 (1) 5.発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 23 (1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」  3 . 雑誌名 在宅ケア	有 国際共著 - 4 . 巻 23 (1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 印刷中
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 23 (1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子,原田魁成,,寒河江雅彦  2 . 論文標題 小規模地方都市の家族介護者の介護離職・転職と「家族レジリエンス」  3 . 雑誌名 在宅ケア	有 国際共著 - 4 . 巻 23 (1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 印刷中
オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 23 (1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 印刷中
オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 23 (1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 印刷中

1 . 著名名 ・ 後日		
2 - 論文信題 - 表者と別した造血細胞移植同胞ドナーの語り - 3 - 確認名 - 1 - 高祖の		4 . 巻
書名を応別した追血網影移信回影ドナーの語り   2019年   3 . 雑誌名   6 . 最初と屋後の頁   90 - 98   90 - 9	浅野悠佳,柳原清子	8 (2)
書名を応別した追血網影移信回影ドナーの語り   2019年   3 . 雑誌名   6 . 最初と屋後の頁   90 - 98   90 - 9		
書名を応別した追血網影移信回影ドナーの語り   2019年   3 . 雑誌名   6 . 最初と屋後の頁   90 - 98   90 - 9	2.論文標題	5 . 発行年
日本通血細胞移植字会領話 日本通血細胞移植字会領話 日本通血細胞移植字会領話 日本通血細胞移植字会領話 日本通血細胞移植字会領話 日本通血細胞移植字会領話 日本通血細胞移植字会領話 日本ランアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 日際共著 ・ 1 . 著書名 四縁実体、原田魁成、寒河江推彦、柳原清子 2019年 3 . 雑芸名 全日本南川族協会雑誌 6 . 最初と最後の頁 1-6 お歌遊なの001(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 日		
日本遺血協肥移植学会補誌		2010
日本遺血協肥移植学会補誌	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	6 早知と早後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.7889/hct-18-005	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	
10.7889/hct-18-006 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 業者名	日本這皿細胞移植字会雜誌	90-96
10.7889/hct-18-006 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 業者名		
10.7889/hct-18-006 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 業者名		
1	掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	査読の有無
1	10.7889/hct-18-005	有
1 - 著者名   1 - 著者名   29 (1)   2 - 論文標題   3 - 雑誌名   3 - 推述名   4 - 整		
1 - 著者名   1 - 著者名   29 (1)   2 - 論文標題   3 - 雑誌名   3 - 推述名   4 - 整	オープンアクセス	国際土著
1 著名名		
西藤実祥、原田魁成、寒河江雅彦、柳原清子       29 (1)         2 . 論文相題 家族介護者の介護離職・転職等に伴う経済損失と 介護労働時間の賃金換算推計.       5 . 発行年 2019年         3 . 健誌名 全日本病院協会雑誌       6 . 最初と最後の頁 1-6         オーブンアクセス なし       国際共著         イーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難       -         1 . 著名名 柳原清子       4 . 巻 45 (2)         2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誠生と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重誘の有無 無         1 . 著名名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん看護       5 . 発行年 2016年         3 . 雑誌名 がん看護       5 . 発行年 2016年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         オープンアクセス       国際共著	オープンアクセスとしている(また、その)が足である)	<u>-</u>
西藤実祥、原田魁成、寒河江雅彦、柳原清子       29 (1)         2 . 論文相題 家族介護者の介護離職・転職等に伴う経済損失と 介護労働時間の賃金換算推計.       5 . 発行年 2019年         3 . 健誌名 全日本病院協会雑誌       6 . 最初と最後の頁 1-6         オーブンアクセス なし       国際共著         イーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難       -         1 . 著名名 柳原清子       4 . 巻 45 (2)         2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誠生と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重誘の有無 無         1 . 著名名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん看護       5 . 発行年 2016年         3 . 雑誌名 がん看護       5 . 発行年 2016年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         オープンアクセス       国際共著		
2 . 論文標題 家族介護者の介護離離・転職等に伴う経済損失と 介護労働時間の賃金換算推計. 5 . 発行年 2019年 3 . 翰誌名 全日本網院協会維誌 6 . 最初と最後の頁 1-6	1 . 著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 家族介護者の介護離離・転職等に伴う経済損失と 介護労働時間の賃金換算推計. 5 . 発行年 2019年 3 . 翰誌名 全日本網院協会維誌 6 . 最初と最後の頁 1-6	齊藤実祥、原田魁成、寒河江雅彦、柳原清子	29 (1)
家族介護者の介護離職・転職等に伴う経済損失と 介護労働時間の賃金換算推計.       2019年         3 . 雑誌名 全日本病院協会雑誌       6 . 最初と最後の頁 1-6         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 - 4 . 巻 45 (2)         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 45 (2)         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       直読の有無 無         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
家族介護者の介護離職・転職等に伴う経済損失と 介護労働時間の賃金換算推計.       2019年         3 . 雑誌名 全日本病院協会雑誌       6 . 最初と最後の頁 1-6         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 - 4 . 巻 45 (2)         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 45 (2)         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       直読の有無 無         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	2 論文標題	5 発行年
3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁         全日本病院協会雑誌       6. 最初と最後の頁         指載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       国際共著         オープンアクセス       国際共著         1. 著書名       4. 巻         杉原清子       4. 巻         2. 論文標題 生と来の交互作用・グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援・短い命の赤ちゃん 設生と家族       5. 祭行年 2019年         3. 雑誌名 特別所済子       6. 最初と最後の頁         オープンアクセス       国際共著         1. 著書名 柳原清子       4. 巻         2. 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5. 発行年 2018年         3. 雑誌名 がん看護       6. 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       富読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
# 1-6		2019 <del>年</del>
# 1-6	2 184 5	6 847 1 8 1 8 1 8 1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	*****	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	全日本病院協会雑誌	1-6
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 4. 巻 45 (2) 2. 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 遅生と家族 3. 雑誌名 精神療法 6. 最初と最後の頁 206-211 種歌論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 無 無 エープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 4. 巻 23 (5) 2. 論文標題 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族 5. 発行年 2018年 5. 全社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 4. 巻 45 (2) 2. 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 遅生と家族 3. 雑誌名 精神療法 6. 最初と最後の頁 206-211 種歌論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 無 無 エープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 4. 巻 23 (5) 2. 論文標題 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族 5. 発行年 2018年 5. 全社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 4. 巻 45 (2) 2. 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 遅生と家族 3. 雑誌名 精神療法 6. 最初と最後の頁 206-211 種歌論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 無 無 エープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 4. 巻 23 (5) 2. 論文標題 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族 5. 発行年 2018年 5. 全社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	40	Ħ
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		<b>国際共</b> 業
1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 45 (2)         2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし       重際共著         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オーブンアクセス       国際共著	· · · · · =· ·	国际共者
柳原清子       45 (2)         2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
柳原清子       45 (2)         2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雜誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重際共著         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 第         オープンアクセス       国際共著		1
2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族       5 . 発行年 2019年         3 . 雜誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重際共著         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 第         オープンアクセス       国際共著	1.著者名	4. 含
生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族       2019年         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 - 1         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	— • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	_
生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族       2019年         3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 - 1         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		_
誕生と家族       6.最初と最後の頁         3.雑誌名 精神療法       6.最初と最後の頁         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1.著者名 柳原清子       4.巻 23 (5)         2.論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5.発行年 2018年         3.雑誌名 がん看護       6.最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柳原清子	45 (2)
3 . 雑誌名 精神療法       6 . 最初と最後の頁 206-211         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柳原清子 2.論文標題	5 . 発行年
精神療法206-211掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス がの方法 切原清子国際共著 -1 . 著者名 切原清子4 . 巻 23 (5)2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族5 . 発行年 2018年3 . 雑誌名 がん看護6 . 最初と最後の頁 501-504掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん	5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 柳原清子	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん	45 (2) 5.発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 柳原清子	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族	45 (2) 5.発行年 2019年
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 柳原清子 4 . 巻 23 (5) 2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 がん看護 6 . 最初と最後の頁 501-504 電読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 柳原清子 4 . 巻 23 (5) 2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 がん看護 6 . 最初と最後の頁 501-504 電読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 柳原清子 4 . 巻 23 (5) 2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 がん看護 6 . 最初と最後の頁 501-504 電読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 柳原清子     4 . 巻 23 (5)       2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族     5 . 発行年 2018年       3 . 雑誌名 がん看護     6 . 最初と最後の頁 501-504       掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし     査読の有無 無       オープンアクセス     国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名 精神療法	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名 精神療法  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名 精神療法  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211 査読の有無
1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名 精神療法  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無
1 . 著者名 柳原清子       4 . 巻 23 (5)         2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 がん看護       6 . 最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柳原清子	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無
柳原清子23 (5)2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族5 . 発行年 2018年3 . 雑誌名 がん看護6 . 最初と最後の頁 501-504掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	柳原清子	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無
柳原清子23 (5)2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族5 . 発行年 2018年3 . 雑誌名 がん看護6 . 最初と最後の頁 501-504掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	柳原清子	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無
2.論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族       5.発行年 2018年         3.雑誌名 がん看護       6.最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柳原清子  2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族  3 . 雑誌名 精神療法  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著
がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族2018年3.雑誌名 がん看護6.最初と最後の頁 501-504掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 . 雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名</li> </ul>	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -
がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族2018年3.雑誌名 がん看護6.最初と最後の頁 501-504掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 . 雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名</li> </ul>	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -
3.雑誌名       6.最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2.論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3.雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (5)
3.雑誌名       6.最初と最後の頁 501-504         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	柳原清子         2.論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族         3.雑誌名 精神療法         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 柳原清子         2.論文標題	45 (2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (5)
がん看護 501-504 指載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2.論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3.雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年
がん看護 501-504 指載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 国際共著	柳原清子         2.論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族         3.雑誌名 精神療法         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 柳原清子         2.論文標題	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2.論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3.雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 柳原清子</li> <li>2.論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族</li> </ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年 2018年
なし 無 オープンアクセス 国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 .論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 .雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 .論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 .雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 .論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 .雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 . 雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族</li> <li>3 . 雑誌名 がん看護</li> </ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (5) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 501-504
オープンアクセス 国際共著	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 . 雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族</li> <li>3 . 雑誌名 がん看護</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 206-211 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 23 (5) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 501-504
	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 . 雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族</li> <li>3 . 雑誌名 がん看護</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 501-504
	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 . 雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 柳原清子</li> <li>2 . 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族</li> <li>3 . 雑誌名 がん看護</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 501-504
カーフファフ にかくはなが、 人はカーフファフ にかが 四共 -	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2. 論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3. 雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1. 著者名 柳原清子</li> <li>2. 論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族</li> <li>3. 雑誌名 がん看護</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし</li> </ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 501-504  査読の有無 無
	<ul> <li>柳原清子</li> <li>2 .論文標題 生と死の交互作用 - グリーフワークとソーシャルワーク: 在宅で生と死を支える支援 - 短い命の赤ちゃん 誕生と家族</li> <li>3 .雑誌名 精神療法</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 .著者名 柳原清子</li> <li>2 .論文標題 がん家族の肖像(1) AYA世代の進行がん患者と家族</li> <li>3 .雑誌名 がん看護</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス</li> </ul>	45 (2)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 206-211  査読の有無 無 国際共著 -  4 . 巻 23 (5)  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 501-504  査読の有無 無

1.著者名	4 . 巻
柳原清子	23 (6)
17FIXV/FI J	20 (0)
2.論文標題	5.発行年
がん家族の肖像(2) ゛きょうだい〟をがんで喪うということ(成人期)	2018年
13 10 3 (1, 1) (2) (1, 1) (1, 1) (1, 1) (1, 1)	2010 1
0. 1011 67	6 PARI P. 6 F
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
がん看護	599-603
7, 0 a.w.	000 000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
40	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カープンテクピスにはない。 大はカープンテクピスが四共	
1.著者名	4.巻
柳原清子	23 (7)
ב אימויאנד	20 (1)
2.論文標題	5 . 発行年
:     へ	2018年
J:/Uネ/J大切月隊(3) ネ/広り イーハーソノ 冊C糸)次同期冊	2010 <del>T</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
がん看護	697-700
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
柳原清子	24 (1)
2 . 論文標題	r 35/=/=
	5 . 発行年
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時	2018年
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時	2018年
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時	2018年
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時 3.雑誌名 がん看護	2018年 6 . 最初と最後の頁 57-60
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 57-60 査読の有無
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時 3.雑誌名 がん看護	2018年 6 . 最初と最後の頁 57-60
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 57-60 査読の有無
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 57-60 査読の有無 無
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 57-60 査読の有無
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 57-60 査読の有無 無
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 57-60 査読の有無 無
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無  国際共著
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無  国際共著
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3 . 雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2)
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3 . 雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3 . 雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2)
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3 . 雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族 - 晩期合併症と家族役割移行ということ	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族・晩期合併症と家族役割移行ということ  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族 - 晩期合併症と家族役割移行ということ	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族-晩期合併症と家族役割移行ということ  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族・晩期合併症と家族役割移行ということ  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族・晩期合併症と家族役割移行ということ  3.雑誌名 がん看護	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 291-294
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族・晩期合併症と家族役割移行ということ  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族・晩期合併症と家族役割移行ということ  3.雑誌名 がん看護	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 291-294
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名がん看護  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族 - 晩期合併症と家族役割移行ということ  3.雑誌名がん看護	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 291-294  査読の有無
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3 . 雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族 - 晩期合併症と家族役割移行ということ  3 . 雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  - 査読の有無 無  国際共著
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3 . 雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 柳原清子  2 . 論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族 - 晩期合併症と家族役割移行ということ  3 . 雑誌名 がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 24(2) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 291-294  査読の有無
がん家族の肖像(4) 家族の力を切望する時・家族が持つ文化の壁を感じる時  3.雑誌名がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 柳原清子  2.論文標題 がん家族の肖像(5) 子どもの'がん'と家族・晩期合併症と家族役割移行ということ  3.雑誌名がん看護  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 57-60  - 査読の有無 無  国際共著

1.著者名 柳原清子	4. 巻 24 (3)
2.論文標題 がん家族の肖像(6) 家族看護の解決志向型アプローチ:家族メンバー間の相互作用のアセスメント	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 がん看護	6.最初と最後の頁 383-397
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	ー 査読の有無 無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	T
1 . 著者名   柳原清子 	4 . 巻 24 (4)
2.論文標題 がん家族の肖像(7)がん臨床の看護師たち - 悩みながら勝負時(意思決定)を待つ!	5.発行年 2019年
3.雑誌名 がん看護	6.最初と最後の頁 印刷中
  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
[学会発表] 計19件(うち招待講演 0件/うち国際学会 2件)	
1.発表者名   板谷智也,柳原 清子,中井 寿雄,二本柳 玲子,遠田 大輔 	
2 . 発表標題 石川県羽咋市における避難意思と関連要因に関する研究	
3.学会等名 日本災害看護学	
4 . 発表年 2021年	
1.発表者名   岡本理恵,柳原清子,津田朗子,田淵紀子 	
2.発表標題 「看護研究」クリティカルシンキング学習の遂行プロセス 3年次「概論」から4年次「研究実施」までの	D評価
   3.学会等名   日本看護教育学会	

4.発表年 2021年

1 . 発表者名 柳原清子,櫻井大輔,木村藍子,澤田紀子,三枝真理,佐藤律子,今井美佳,園川雄二	
2 . 発表標題 渡辺式」家族アセスメント/支援モデル その12 - コロナ禍における家族面会:改めて医療システム内の困惑に焦点を当てて分析する	<b>వ</b> -
3 . 学会等名 日本家族看護学会第28回	
4 . 発表年 2021年	
1.発表者名 柳原清子,澤田紀子他	
2 . 発表標題 「渡辺式」家族アセスメント/支援モデル その11 - 意思決定支援シートとACPの家族対話をつくるスキル -	
3 . 学会等名 第27回日本家族看護学会	
4 . 発表年 2020年	
1.発表者名 岡本理恵、柳原清子	
2.発表標題 「看護研究」クリティカルシンキング学習の遂行プロセス:3年次「概論」から4年次「研究実施」までの評価	
3 . 学会等名 第30回日本看護学教育学会	
4 . 発表年 2020年	
1 . 発表者名 1 . Kiyoko YANAGIHARA, Hiromichi YAMAGUCHI, Makoto FUJIU	
2.発表標題 Creating a map of areas with disaster vulnerability for evacuation support for senior citizens: A study of river floor disasters in City A - a mid-sized city in Japan.	gnik
3 . 学会等名 25th World Nursing and Health Care. (国際学会)	
4 . 発表年 2019年	

1.発表者名 野尻清香、土本千春、柄澤清美、柳原清子
2 . 発表標題 自分を伝えないAYA世代終末期患者の残された「今」を支えた看護のリレー ; 語り合えない家族をゆさぶる
W. F. F.
3.学会等名 第26回 日本家族看護学会
4.発表年
2019年
1.発表者名
和泉美里、柳原清子
2.発表標題
2 . 光表伝超 稀少がん終末期患者の自宅退院を可能にした退院支援看護師の実践 - 本人を司令塔にして持つ力の保持をはかる -
2 24 6 75 73
3 . 学会等名 第50回看護学会「在宅看護」
4. 発表年
2019年
1.発表者名 
2 . 発表標題 せん妄が遷延した患者への身体抑制をしない看護~大学病院循環器病棟での実践知の探究~
3.学会等名 第50回看護学会「慢性期看護」
4. 発表年
2019年
1
1.発表者名 松本修一、柳原清子、澤田紀子
2 . 発表標題 看護師の家族看護学コンピテンシー内容の分析 - 「渡辺式」家族看護研究会の参加者からの調査 -
3 . 学会等名 第26回 日本家族看護学会
4 . 発表年 2019年
۵۷۱۵۰۲

1.発表者名 遠田麻衣子、柳原清子
2 . 発表標題 「最期の持続的鎮静を自ら決断した」終末期がん患者を支えた"待つ看護
3 . 学会等名 第50回看護学会「慢性期看護」
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 垣見留美子、櫻井大輔、柳原清子
2 . 発表標題 「渡辺式」家族看護事例分析からの'ことば化'の試み - 家族システムと援助者の相互作用パターン分類を通して
3 . 学会等名 第26回 日本家族看護学会
4.発表年 2019年
1.発表者名 原田魁成,柳原清子,寒河江雅彦
2 . 発表標題 家族介護者の介護認識と就労実態からの家族リジリエンス研究:小規模地方都市を焦点化して
3 . 学会等名 第23回日本在宅ケア学会学術集会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 寺田祐里,柳原清子,和泉美里
2 . 発表標題 家族リジリエンス研究:壮年期終末期がん患者の在宅への踏み出しと死を看取る力.
3 . 学会等名 第23回日本緩和医療学会学術集会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 柳原清子,寒河江雅彦,澤田紀子
2.発表標題 地方の中規模市における家族介護とジェンダー 女性の働き方の変化を焦点化して -
3.学会等名 第24回日本家族看護学会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 KIYOKO Yanagihara, HIROMICHI Yamaguchi,
2 . 発表標題 Creating a map of areas with disaster vulnerability for evacuation support for senior citizens: A study of river flooding disasters in City A, a mid-sized city in Japan
3. 学会等名 25th World Nursing and Healthcare Conference(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 柳原清子、津田朗子 岡本理恵 鏡真美 市森明恵
2 . 発表標題 臨床実習導入教育におけるPBL/ポスターツアーを用いたアクティブラーニングの取り組みの検討 .
3 . 学会等名 第28回看護学教育学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 柳原清子、南香奈、津田朗子 岡本理恵
2 . 発表標題 退院調整場面を焦点化した多職種協働・地域連携教育の検討:IPEを意識した臨床実習導入教育
3 . 学会等名 第29回看護学教育学会
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 梅本真由美、柳原清子
2 . 発表標題 要介護 3 以上の在宅介護生活継続を可能にする家族タイプと関連要因の分析:家族介護生活指標(FACL)を用いた調査より
3.学会等名 第25回 日本家族看護学会
4 . 発表年 2018年

〔図書〕 計1件

1.著者名	4 . 発行年
佐無田光、平子紘平編、板谷智也、柳原清子他著	2019年
2 . 出版社	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	1-270 (226-232)
3.書名 地域包括ケアとエリアマネジメント:補章 介護離職と「家族レジリエンス」のとらえ 地域包括システム下での家族支援	

### 〔産業財産権〕

## 〔その他〕

「渡辺式」家族看護研究会 http://watanabeshiki.net/ k-family-ns.w3.kanazawa-u.ac.jp/ watanabeshiki.net/ 長野がん看護/家族看護研究会 http://nagano-nursing.net/

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------